

稲敷広域消防本部がパラオ共和国へ救急車を寄贈し感謝状が授与されました NPO 法人日本医療救護機構理事長らが龍ヶ崎市長を表敬訪問 (7/24)

稲敷広域消防本部では、平成31年3月に特定非営利活動法人日本医療救護機構を通じてパラオ共和国へ救急車1台を寄贈しました。

今回の寄贈により、パラオ共和国から稲敷広域消防本部へ感謝状が授与されたことに伴い、令和元年7月24日（水）に特定非営利活動法人日本医療救護機構 鎌田理事長らが中山一生龍ヶ崎市長（稲敷地方広域市町村圏事務組合管理者）へ報告のため表敬訪問します。

稲敷広域消防本部では、これまでも使用しなくなった救急車等を要望に応じて諸外国へ寄贈しています。

今回の寄贈は、特定非営利活動法人日本医療救護機構の申し出により、パラオ共和国と稲敷広域消防本部との間で物品譲与契約書を平成30年11月30日に交わし、平成31年3月に特定非営利活動法人日本医療救護機構を通じて実現しました。

※今回寄贈した車両は、平成17年3月に購入し平成26年まで救急車として運用、その後、阿見消防署にて非常用救急車として運用していました。

平成30年10月に牛久東部出張所の救急車を阿見消防署の非常用救急車として運用したことから、廃車を予定していた車両です。

■日 時 令和元年7月24日(水)午後1時15分～午後1時45分

■場 所 龍ヶ崎市役所 3階市長室(所在地:龍ヶ崎市3710番地)

■出席者 特定非営利活動法人日本医療救護機構 鎌田裕十朗理事長、高野貴世志副部長

龍ヶ崎市長 中山一生(稲敷地方広域市町村圏事務組合管理者)

稲敷広域消防本部 澁谷明宏消防長、小嶋一男次長、新宮昭司救急課長

■その他 特定非営利活動法人日本医療救護機構は、災害や紛争等で傷いた方々の緊急救援医療から復旧復興医療までの支援を目的として、平成10年に設立。医療・保健衛生だけでなく様々な分野の方々から参加・協力を受け、国内及び海外で活動している団体です。

担当課

稲敷広域消防本部 救急課

担当者：新宮（しんぐう）

連絡先：0297-64-3743